

【奨励賞】

団体名	一般社団法人 三重県技能士会
活動の内容（概要）	本団体は、小中学校に技能士を派遣し、児童生徒にもものづくりの楽しさや技能の大切さを実感させるために、制作過程を工夫するなど発達段階に応じた「ものづくり体験」の取組を行うとともに、毎年、関係団体と連携して県内各地で「ものづくりフェア」を開催している。

受賞理由

- 技能士会による小中学生を対象とした「もの作り体験」提供の実践である。24年間にわたり継続的に実践してきたこと、及び、他の多くの地域で実践可能なモデルとなり得ることを評価したい。
- 「ものづくり」をキャリア教育の中核と捉え、「仕事」や「働くこと」についてシンプルな形で展開できている。特に小学生にとってはキャリア形成を促す取組のひとつとなる。
- 地域技能士会の取り組みにより、児童生徒にとって「ものづくり」がより身近なものとなり、技能士側にとってもひとつのやりがいを生み出すものと思われる。
- 日本の産業界は「ものづくり」で国際的な競争力を確保したが、その地歩が危ぶまれていることに対して、専門家集団の「技能士会」と連携して、24年間で、5職種から14職種に拡大し、「ものづくり体験」「ものづくりフェア」へと確実な発展がはかられている。
- 対象によって、指導内容を工夫するプロセスで、子供だけでなく大人の学びが醸成されていることが予想され、今後の活動に期待したい。子供たちの体験が将来活かされるだけでなく、地域づくりにつながっている。

連携・協働している機関や団体、組織

【教育関係者（学校、教育委員会等の機関や団体）】

津市立小学校53校、津市立中学校22校、三重県教育委員会、津市教育委員会

【行政や地域・社会、産業界等】

津市商工観光部、三重県雇用経済部、三重金属工業株式会社、パナソニック株式会社エコソリューションズ社、日立金属株式会社、株式会社デンソー大安製作所、三重県職業能力開発協会

活動開始の経緯

【活動開始時期】平成4年～ 【継続年数】24年

活動開始当初、当会は三重県庁の能力開発課に在籍し、主に三重県の要請を受けて活動を行っていた。県内技能士の団体・企業を集めて技能祭を毎年実施し、広く県民へ技能士の存在をアピールすることにより、来場者が興味を持ち、将来を担う子供達の職業選択の場にできればと技能士一同知恵と工夫を出して開催してきた。また、県内の技能グランプリを開催し、技能士がお互いに競うことによって、技能の研鑽を推進してきた。一方で、地域の学校や子供会等から、子供達に「ものづくり」の大切さを実感させ、家庭では使ったことのない道具や工具を使い本物に触れる機会を作ってほしいとの要望を受けたことで、現在の活動につながる小中学校を中心とした出前事業等を行うようになった。

「協力性」についての具体的な取組、工夫している点など

三重県技能士会では、津市教育委員会と連携し、早期からのキャリア教育の推進に取り組んでいる。小中学校においては、年度当初に津市教育委員会から事業内容を照会し、各校の要望に沿って事業を展開している。PTA活動の一環として位置付けている学校には、親子で協力して製作することを重視し、製作物を選定したり、卒業を目前に控えた中学校では、将来の職業選択を見据えて、多くの職種を用意して生徒が選択できるよう技能士を派遣するなど、各校のニーズを踏まえて内容を検討し、実施している。

また、特別支援学校においては、第一に児童生徒の安全を考慮し、派遣する技能士の数を増やしたり、比較的簡単に完成できるよう材料の下準備をするなど、児童生徒の障がいの状況に応じた対応も行っている。

「継続性」についての具体的な取組、工夫している点など

事業開始当初は、実施職種が5職種（屋根工事業組合・畳製作支部・寝具技能士会・フラワー装飾支部・建設労働組合）であったが、児童生徒により多くの情報発信ができるよう、当会所属の組合・支部と検討を重ね、職種の拡大を図り、現在は14職種まで体験可能となった。

また、児童生徒の発達段階に応じた体験内容にするため、同じ職種であっても、難易度の異なる作品を制作できるようにしたり、制作過程を簡略化したりするなど工夫している。

「実践性」についての具体的な取組、工夫している点など

将来を担う小中学生に「ものづくり」の大切さを実感させるために、発達段階に応じた作品作りを組合・支部（技能士）と検討している。

例えば、同じ木工体験でも小学生であれば材料を用意し、釘と金づちを使用した組立調整となるが、中学生であれば、材料を用意し、材料取り、鋸での切断、カンナでの削りなどの工程を経て、作品を仕上げていくようにしている。複雑な工程を経験することで、名称や用途を知ることができ、大工に対する深い理解にもつながっていく。

「発展性」についての具体的な取組、工夫している点など

これまでの実績から、学校を異動した教員が、転勤先の学校でも実施を考えるようになり、市内の小中学校で広がりがみられる。また、保護者も参加する学校があり、地域に活動に対する理解が広がってきている。

また、当会では、毎年10月に県内14市ある中の1市を会場に「ものづくりフェア」を開催したり、地域の祭りやイベントに参加したりしている。参加にあたっては、関係機関・関係団体と協力のうえ、一般市民にもものづくり体験の機会を提供することで、ものづくりに対する理解を深め、大切さを広めることを目的に活動している。

学校現場の評価・感想・コメント

- ・専門の職人に、ものづくりを教えてもらい、有意義な体験となった。
- ・「ものづくり体験」を通して、将来の職業について考える機会となった。
- ・たくさんの技能士を派遣してもらうことで安全に配慮して体験をすることができた。
- ・ものを作る楽しさを実感するとともに、製造業に興味関心を持つ機会となった。

関係諸機関（行政・産業・地域団体等）からの評価・感想・コメントなど

これまでキャリア教育の一環として、技能士会に講師派遣を依頼し、市内の小中学校でものづくり体験を実施してきた。小中学生に、実際にものづくりを体験させることで、ものづくりの楽しさを実感させることができている。それとともに、自らの職業選択に対する気付きや将来を見据えた職業観を培うことに役立っている。



< 光る泥団子作り教室の様子 >

(講師：三重県左官技能士会会員 5名)



< 座布団製作体験講座の様子 >

(講師：三重県寝具技能士会会員 6名)



< 木工教室の様子 >

(講師：三重県建設労働組合会員 8名)



< フラワーアレンジメント教室の様子 >

(講師：フラワー装飾三重支部会員 8名)



< ウェルカムボード教室の様子 >

(講師：広告美術仕上げ支部会員 2名)



< 畳花瓶敷き製作教室の様子 >

(講師：畳製作支部会員 5名)